

かわさきチャレンジ・3Rニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



第20号

平成24年11月発行

川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R） 行動計画の改定について

平成25年4月から新たな行動計画に基づいた取組を推進します。



改定の背景・経過

『川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）』は、平成17年4月に「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指して」を基本理念に、市民・事業者・行政の環境意識の向上、ごみの発生抑制とリサイクルの推進、事業の効率的な運営を施策の基本として策定されており、この基本計画に基づき、具体的施策等を位置づけた行動計画を定めております。

これまで3R（リデュース（発生・排出抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用））を基調とした様々な取組により、ごみ量が大幅に減量するなど、計画は概ね順調に推移しています。また、東日本大震災の教訓を踏まえ、安全性・安定性を確保した廃棄物処理体制の重要性は更に増加しています。

このような状況を踏まえ、本市では平成23年11月、行動計画の改定の考え方について、学識経験者や市民代表等で構成される川崎市環境審議会へ諮問いたしました。同審議会では、本市と共同で市民説明会及び市民意見の募集を行い、幅広い見地から審議の上、平成24年7月に答申としてとりまとめていただき、この答申に基づき、本市では平成24年8月に行動計画を改定しました。

計画期間

平成25年度から平成27年度まで

重点施策

設定した53の具体的な施策のうち、施策の優先順位として目標達成に向けてごみ減量効果の高い施策など18の重点施策、この内、特に重要な施策を新たに4つの最重点施策*として位置づけます。*詳細は2ページ参照



目 標

指 標

1 ごみの発生抑制の促進

市民1人が1日に出すごみを
53.0（ごみゼロ）g
減量します

（1,041g ⇒ 目標 988g）
（基準年度：平成22年度実績）

2 リサイクルの推進

市全体の
資源化率を
35%にします

3 焼却量の削減

ごみ焼却量を
4万トン
削減します

（41万トン ⇒ 目標 37万トン）
（基準年度：平成22年度実績）

温室効果ガス削減率

平成27年度までに
廃棄物分野における
温室効果ガス排出量を
35%削減します